霧島市立国分南中学校
学校便り９月１号
令和８年９月７日発行

雄飛

校訓　考える人　心豊かな人　たくましい人

人は環境から大いに影響を受けている

校長　平國弘明(ひらくに　こうめい)


CDjournal HP より

ジブリや数々の映画音楽作品や世界的指揮者として有名な久石譲さん。８月に３件のギネス世界記録に認定されました。今回認定された記録は、まず「東京ドームにおけるクラシック連続公演の最多チケット販売記録」、２つ目がロサンゼルスのハリウッド・ボウルにおけるクラシックコンサート連続公演の最多チケット販売記録、３つ目がニューヨークのラジオシティ・ミュージックホールにおけるクラシック作曲家としての最長連続公演（単一連続興行）です。そのニュースを聞き、「コンサートに行ってみようか」と考え、これから先の公演のチケットを調べてびっくり。「SOLD OUT」の文字ばかりでした。久石さんのチケットは、抽選によるものがほとんどで、その倍率は１０倍ほど。簡単には手に入らないアーティストの一人だとのことを今回、認識したところです。受賞後、久石さんは「この度のギネスレコード受賞は光栄なことで大変嬉しく思っています。各公演でもらう観客のみなさんからの声援はたいへん励みになりました。これからも僕のコンサートにたくさんのお客様に来ていただき楽しんでもらえるよう頑張ります。」とのコメントを出されています。

さて、その久石さん、養老孟司（解剖学者。東京大学名誉教授。医学博士）さんとの「空気が変われば、感性も変わる」と題した対談の中で、実体験を交えながら「環境は大事である」とおっしゃっています。体験とは、ある曲のレコーディングを日本のオーケストラではなく、イギリスでロンドン交響楽団と行ったときのこと。ロンドン交響楽団とは、久石さんの弁を借りれば、「どんな譜面が来ても即座に弾けてしまう、非常に機能性の高い、世界最高峰のオーケストラ」。レコーディングスタジオのスタッフもプロ中のプロ。そういう中にいると、自分たちの感性もどんどん研ぎ澄まされていくように感じたと。これは久石さんだけでなく、同行した日本人スタッフも同様な感覚を感じていたそうですが、日本に帰ってきてしばらくすると、「感性がレベルアップしたと思っていたら、違いました。もう元に戻ってしまいました。」とぼやいていたそうです。対談はここまででしたが、気になったので、人の心や体と環境の変化について少し調べてみました。すると、環境の変化による感性や感覚の変化は、単なる気のせいではなく、科学的な根拠があることが示されていました。環境を変えるだけで、ストレスが軽減し、創造性が高まり、健康にも好影響が出る現象（日常とは異なる場所に身を置くことで、心身にポジティブな変化がもたらされる現象）―これを「転地効果」というそうです。その具体的効能とは、

①ストレスの軽減、②気分の改善と幸福感の向上、③創造性の向上、④睡眠の質の向上など。

実は、この「転地効果」は、日本では古来から「湯治」や「転地療法（住み慣れた土地を離れて、病気の療養を行う治療法）」として活用されています。先ほどの対談の中では、久石さんが、「国内では評価をあまり受けていなかった音楽家が、海外に移住して成功した人がいる。」と紹介されていました。環境を変えることで、それまでとは違う気分、感性や感覚を得ることができるんですね。例えば勉強。気分が乗らないときは場所を変えてみる。近所を散歩する。思考を邪魔しない音楽を聴きながら取り組むなどは、すでにやっている人もいるのではないでしょうか。授業（体育や音楽は該当しないでしょうが）は、やはり静かな環境でなければ、集中できない人がほとんどです。声の大きさや態度等、十分気をつけなくてはいけませんね。環境は、人に大きな影響を与えます。日常や学校でも、いい環境づくりを意識したいものです。

参考　CDJournal HP　「脳は耳で感動する」養老孟司・久石譲 著　空間デザイン心理学協会HP

伝統を引き継いで

この夏も多くの場面で、南中生の活躍があった。中でも、長く引き継がれる行事・取り組みである舞鶴神輿・乙女山車と上野原縄文の森ボランティアガイドに多くの生徒が参加した。



霧島国分夏祭りのメインイベントとも言える神輿。子ども神輿、元気神輿に続き、舞鶴神輿が始まる。今年の祝詞は、南中の番、代表者が脈々と引継がれてきた神輿に込められた思いを見事に詠んだ。南中が先陣を切り、国分中、舞鶴中の生徒たちが神輿をつなぐ。今年は、時間との兼ね合いもあり、台車による補助もあったが、無事に役割を果たした。祭りという独特の雰囲気の中にあり、２年生全体が落ち着いて行動し、静かに過ごす姿は、評価に値するものであった。互いをねぎらい、先生方や保護者の方々とも言葉を交わしつつ、一団は解散。それぞれ祭りへ或いは帰途へと着いた。

毎年７月末に３日間行われているボランティアガイド。講話、現地研修を経て、ボランティア本番を迎えた。今年は、昨年を上回る２１名の生徒が参加した。緊張しながらも学んだことを懸命に伝えようとする姿があった。３年連続で参加しているという生徒もいて、頼もしさを感じた。ガイドのない時間帯には、控室で夏休みの宿題に取り組む姿や談笑する様子も見られ、実に微笑ましく感じた。学びを生かす実践の場。1,2 年生には来年度、さらに多くのチャレンジを期待したい。



講師をお招きして

７月２日、学期末ＰＴＡ後、絵本うたい屋の山元全（やまもと　まっとう）さんをお迎えし家庭教育学級が開かれた。参加者は、延べ数でも１０名ほどと少なったが、参加者は、山元さんの歌や絵本のスライドを観ながら、子どものことや命のこと、社会のことなどを深く感じ入る時間を過ごすことができた。おそらく、ご自分の歩みや現状を思い起こしながら、聞き見入る方が多かったのだろう。涙を流される方もいらっしゃった。私も一曲目からジンと来るものを感じた。絵本のすばらしさも改めて感じることだった。



７月９日の６時間目に、１年生を対象としたLGBTQに関する講話を今年も行った。講師は、自身がトランジェンダーであることを公表し、性の多様性の理解やこのことに関する不安や悩みを抱えている方々を援助する活動をされている児島希望さん。講演では、ご自身の経験を交えながら、これらに関する言葉の意味や現状を分かりやすく教えていただいた。講演後、お話をする中で、コミュニケーションの大切さに触れられた。お互いの理解を深めていくためには、語り合うことが重要であると感じた。



受賞・表彰

7/2　県図画作品展霧島市審査　特選 2名　　同入選 9名
19 県総体陸上競技2年男子1500m1位
21 県総体水泳競技男子100m自由形8位　200m自由形5位　同6位　男子 400m自由形5位
男子 200m背泳ぎ7位　　女子100mバタフライ7位　　男子4×100mリレー5位
8/2　地区少年スポーツ大会水泳競技男子の部　100m平泳ぎ1位　50m平泳ぎ3位
50m背泳ぎ3位　100m背泳ぎ2位　100mバタフライ1位　50mバタフライ1位
100m自由形1位　　同2位　　50m自由形1位　　50m背泳ぎ2位
200m個人メドレー2位　　200mメドレーリレー2位　　200mリレー1位
同女子の部　100mバタフライ1位　50m 自由形1位　50mバタフライ2位
東串良町ルーピン・バスケットボール大会男子の部準優勝
9　霧島カップバスケットボール大会男子の部準優勝
25　県夏季研修ソフトテニス大会1年の部優勝

〔令和８年9月後半主な行事予定〕
21日(月)㊡敬老の日　22日(火)㊡国民の休日　23日(水)㊡秋分の日　24日(木)体育大会振替休日
25日(金)キャリパス記入期間　29日(火)生徒集会
※　あくまでも予定ですので、変更等が生じる可能性があることを予め、了解ください。

第59回体育大会　R8年9月19日(土)　8:00～開会式